

令和元年度

広島大学理学研究科 数学教室談話会

令和元年7月23日(火) 午後1時
広島大学理学部B棟7階B707教室

山澤 浩司 氏 (芝浦工業大学デザイン工学部)

題目： q -アナログにおける差分-微分方程式の形式解の総和法
について

今回の談話会では学部生も参加するというので、 q -アナログの差分-微分方程式について例を使いながら入門的な話題を提供し、その後の集中講義の導入的な役割を目的とする。そこで次の順に話を進めていく。まずは微分方程式において

1. オイラー作用素について
2. 形式解が収束する場合について
3. 形式解が発散する場合について (Gevrey 評価, Borel 総和法)

話しを進める。その後、

4. 微分方程式の q -差分化について
5. 1~3 に対応する q -差分-微分方程式の結果

を紹介する。また、それぞれの事項において参考になる論文も紹介をする。

問合せ先:
広島大学理学研究科数学教室談話会係
〒739-8526 東広島市鏡山 1-3-1
電話: 082-424-7339 (作間 誠)
email: sakuma@hiroshima-u.ac.jp

最新の教室情報はホームページをご覧ください。

<http://www.math.sci.hiroshima-u.ac.jp/index-j.html>

本セミナーは、5 研究科共同セミナーを兼ねています。